

---

## Hiroshi Ishiguro 石黒 浩



石黒弘博士は、インテリジェントロボティクス研究所所長です。研究所は、大阪大学大学院工学研究科システムイノベーション専攻の一部でもあります。実験室の注目すべき発展は、実物そっくりの外観に、自然な顔の動きに見える動きをする人型ロボットである Actroid です。

石黒宏は、生きている人間に可能な限り似たロボットを開発するというアイデアに焦点を当てています。2005年7月「Repliee Q1Expo」という名前の女性アンドロイドが発表されたとき、彼はロボットの存在感を与えるためにその登場の重要性を認識したと述べました。石黒は、人間と区別がつかないアンドロイドを作ることが可能かもしれないとさえ考えています。

石黒浩は、Geminoidと名づけた彼にそっくりのアンドロイドもつくっています。また、テレノイドR1という電気通信ロボットも紹介しました。石黒は、大阪大学の彼のクラスで教える際、アンドロイドを使い、学生をぶきみगरさせるのを楽しんでいます。学生達は、Geminoidが瞬き、「呼吸をし」、そして、まるで、人間のように彼の手をいじる動きをみて、驚いています。